

A stylized grey hummingbird in flight, facing right, positioned behind the word "Hummingbird".

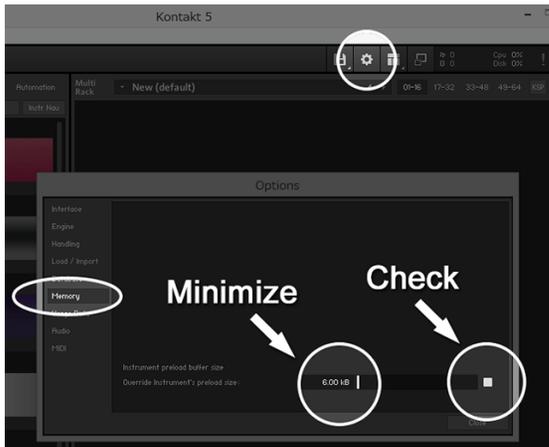
# **Hummingbird**

**update ver.1.20**

## [重要] プリロード・バッファ・サイズの設定

マルチやインストゥルメントをロードする前に必ずpreload buffer sizeの確認を行ってください。

ロード時に膨大な数のサンプルが読み込まれるため、まずKontaktのオプション画面でプリロードの設定を行ってください。Kontaktのプリロードの初期設定はストリーミングの安定度を優先させるためにプリロードのサイズがかなり大きく設定されています。（通常の使用では大きすぎる値が設定されています。）数多くのサンプルを読み込む際に生じるメモリ不足を回避するためには、プリロードのサイズを小さくしなくてはなりません。



(画像は Kontakt5. 6の設定画面です)

### 1. 'Options' ボタン



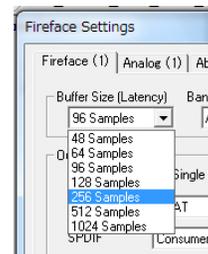
をクリックして 'Memory' のタブをクリックしてください。

2. チェックボックスをクリックして白く塗りつぶされた状態にし、'Override Instrument' s preload size' の値を最小の6kbにしてください。

まずは最小の6kbで試してみることをお勧めいたします。もしサンプルのストリーミングがスムーズに行われず音切れ等が発生するようであれば、'Override Instruments preload size' の値を12kbにしてください。最適な値はお使いのコンピュータの性能によって異なりますが、一般的には12kbのプリロードバッファがあればストリーミングは問題なく行われます。それでもまだストリーミングが追いつかず音切れする場合には必要に応じて値を大きくしてください。

### マルチを使用時、打鍵時にノイズが発生する場合

多くのインストゥルメントを含むマルチはインストゥルメント単体使用時に比べてある程度の処理能力がオーディオ・システムに必要とされます。もし打鍵時にノイズが発生する場合は、オーディオ・インターフェイスのレイテンシーの値を「大きく」してください。(Kontaktのオプションのpreload buffer sizeとは違い、「大きく」してください。) レイテンシーの変更に関する詳細はお使いのオーディオ・インターフェイスのマニュアルをご参照ください。



---

## ver. 1.20 新機能および変更点 :

### 【追加された新機能】

- 'forced hammer-on / pull-off'
- コード、m11th、 9sus4 を追加（それぞれ 5つのコードフォームのバリエーションを選択可能）

### 【改善】

- hybrid モード が選択されている状態で string skip key switch を使用した時に自動的にリアルサンプルコードの代わりにエミュレートコードを鳴らすように変更  
（以前のバージョンでは hybrid モード が選択されている時は string skip key switch は無効）

### 【修正】

- ある状況下において Stop Key に割り当てられたピッキングノイズが正常に鳴らない場合がある不具合を修正
- hybrid モードが選択されている状態かつ prefer low / open が ON の時、string / chord shape select key switch を使用するとコードが正しいポジションで鳴らない場合がある不具合を修正
- その他軽微なバグ修正

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player（またはKontakt）5.7.3 以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

## Forced hammer-on / pull-off (強制ハンマリング/プリング機能)

この機能を使用すると、通常のススティンのサンプルの代わりにハンマリングまたはプリングのサンプルを鳴らすことができます。例えば、この機能と[ストリング・スキップ・キー・スイッチ](#)を併用することで、あるコードを鳴らした後、そのコードの構成音の内、特定の弦だけをハンマリングまたはプリングすることなどが可能です。有名な曲を例にとると、「Long Train Running」のイントロのギターのように、コードの一部の音だけをハンマリング付きで演奏することができます。Forced hammer-on / pull-off は MIDI CC# 15 で有効化/無効化できます。

### MIDI CC# 15

0: OFF

1 - 63: Forced hammer-on

64 - 127: Forced pull-off

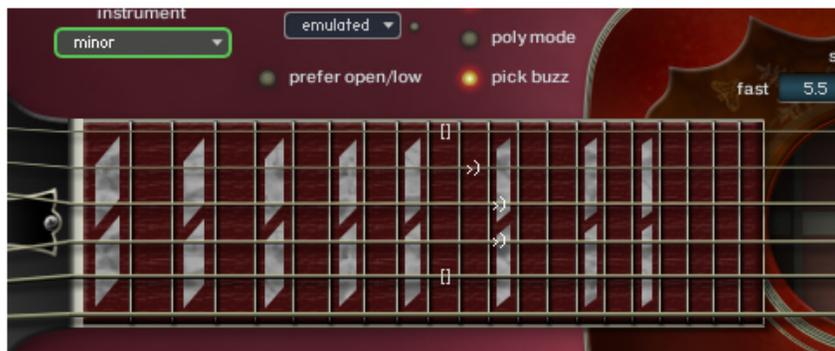
### 使用例

以下の例ではハンマリング付きのマイナーコードを鳴らします。最初のコード、G9sus4を鳴らしてから1、5弦はそのまま鳴らしたまま2、3、4弦のみをハンマリングします。こうしたハンマリングを加えることにより、結果としてハンマリング付きの Gm (Gマイナー)になります。

1



2



## Forced hammer-on / pull-off の打ち込み例

The screenshot displays a MIDI piano roll with a vertical axis for strings (C8 to C0) and a horizontal axis for time, divided into measures 1.3, 1.4, 2, and 2.2. The piano roll shows several MIDI events:

- string skip:** A red bar in measure 1.4, spanning from the 5th string (C4) to the 8th string (C8).
- string / chord shape select:** A red bar in measure 1.4, spanning from the 1st string (C1) to the 5th string (C4).
- play chords:** Two red bars in measure 2, labeled '1' and '2', spanning from the 1st string (C1) to the 5th string (C4).
- instrument select with chord recognition:** Three red bars in measure 2, spanning from the 1st string (C1) to the 5th string (C4).
- MIDI CC# 15 forced hammer-on / pull off:** A grey bar in measure 2, spanning from the 1st string (C1) to the 5th string (C4).

1 番目のコードを鳴らした後、  
2 番目のコードを鳴らす前に  
MIDI CC# 15 の値を1-63の間の値  
にしてForced hammer-on を有効に  
します。

インストゥルメント・セレクト・  
キー・スイッチで次のコードを選  
択します。

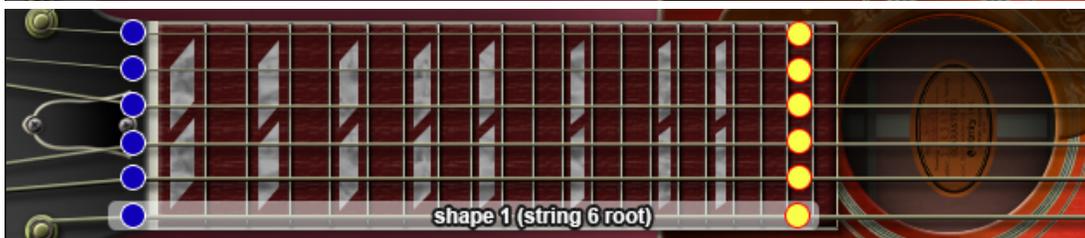
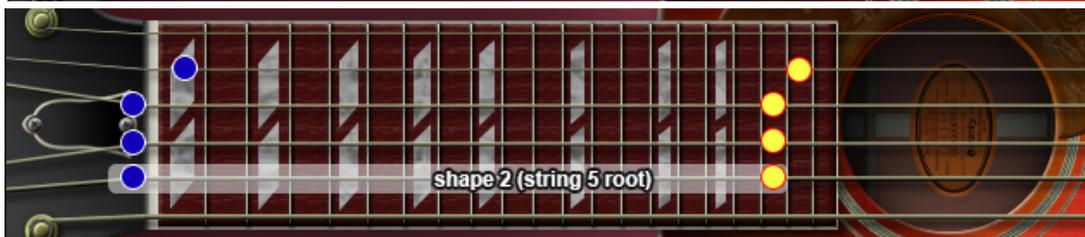
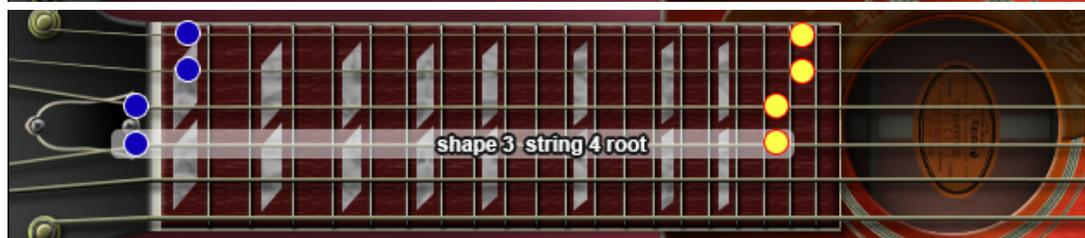
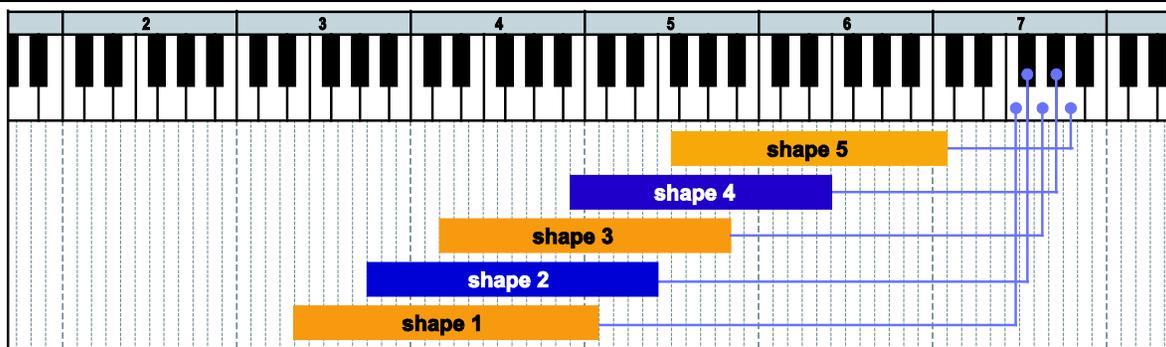
2 番目のコードでは1 弦と5 弦に  
関しては最初のコードで鳴らした  
音をそのまま鳴らしておきたいの  
で、[ストリング・スキップ・キー・  
スイッチ](#)、C#8 (5 弦用) および F8  
(1 弦用) を入れます。

2 番目のコードを演奏すると、2,  
3, 4 弦のみがハンマリングされ  
ます。

結果として、1 番目のコードはハン  
マリング付きのGm (Gマイナー)  
になります。

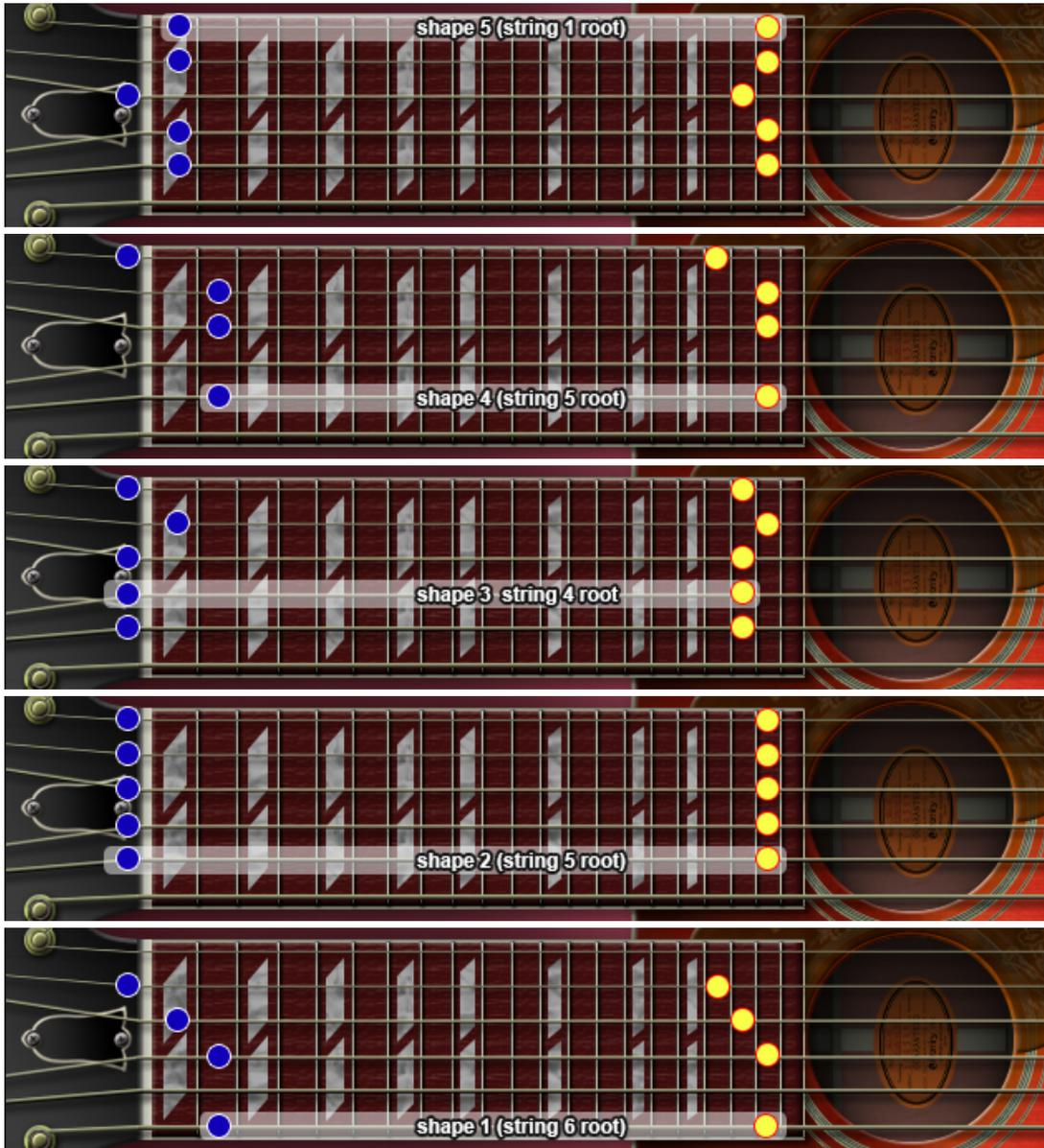
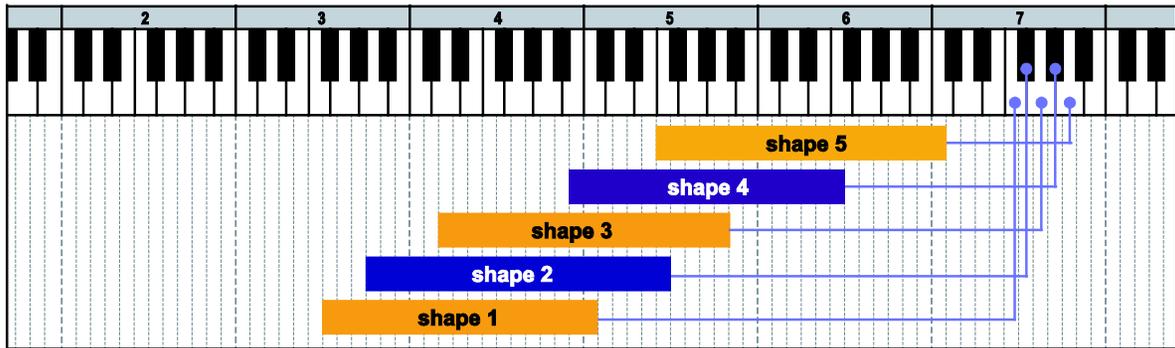
# 追加コードプリセット (m11、9sus4)

m11



● = lowest position   ● = highest position

# 9sus4

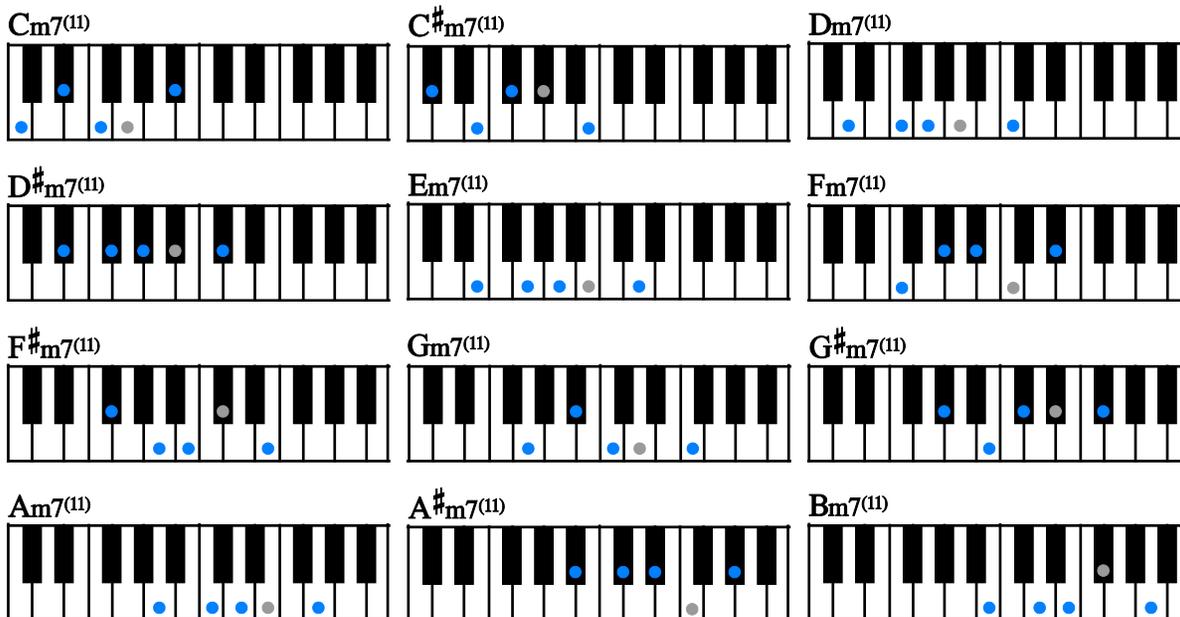


● = lowest position ● = highest position

## 追加コードプリセット (m11、9sus4) コード認識コマンド

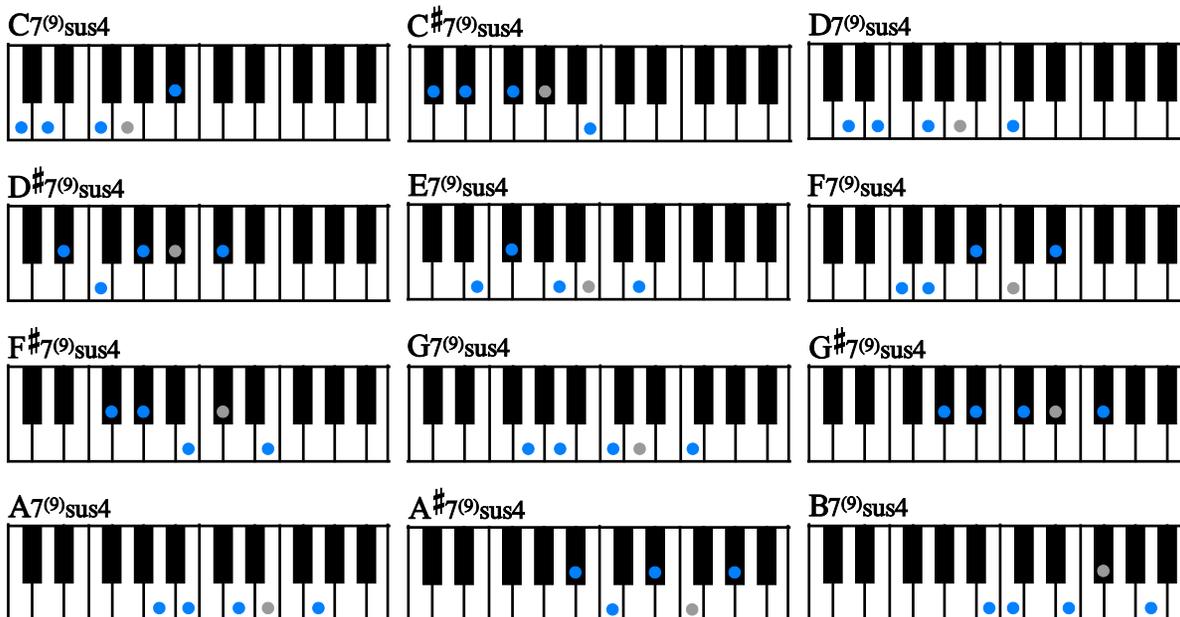
### m11

root + minor3rd + 11th(4th) + 7th (5度は省略可能)



### 9sus4

root + 9th(2nd) + 4th + 7th (5度は省略可能)



---

## ver. 1.11 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

- Chord Shape Select Key Switch が Strum Key および Arpeggio Key に対応しました。以前のバージョンでは Chord Shape Select Key Switch は Normal Key のみの対応となっていたましたが、このバージョンアップにより、Strum Key および Arpeggio Key を使用中に Normal Key を弾かずに chord shape (コードフォーム) を確定させることが可能となりました。
- Kontakt のヴァーチャル・キーボードおよび KOMLETE KONTROL S series keyboard (Komplete Kontrol アプリケーションまたはプラグインで使用時) の Light Guide が現在使用中のインストゥルメントで選択可能な string / chord shape switch のみを表示するようになりました。

### 【修正】

- ある状況下においてアルペジオキーに正しいコードの構成音が割り当てられない場合がある不具合を修正

### [Kontakt Player のバージョンをご確認ください]

このアップデートには Kontakt Player (または Kontakt) 5.6.8 以降のバージョンが必要となります。最新の Kontakt Player を以下の URL にてダウンロードしてください。

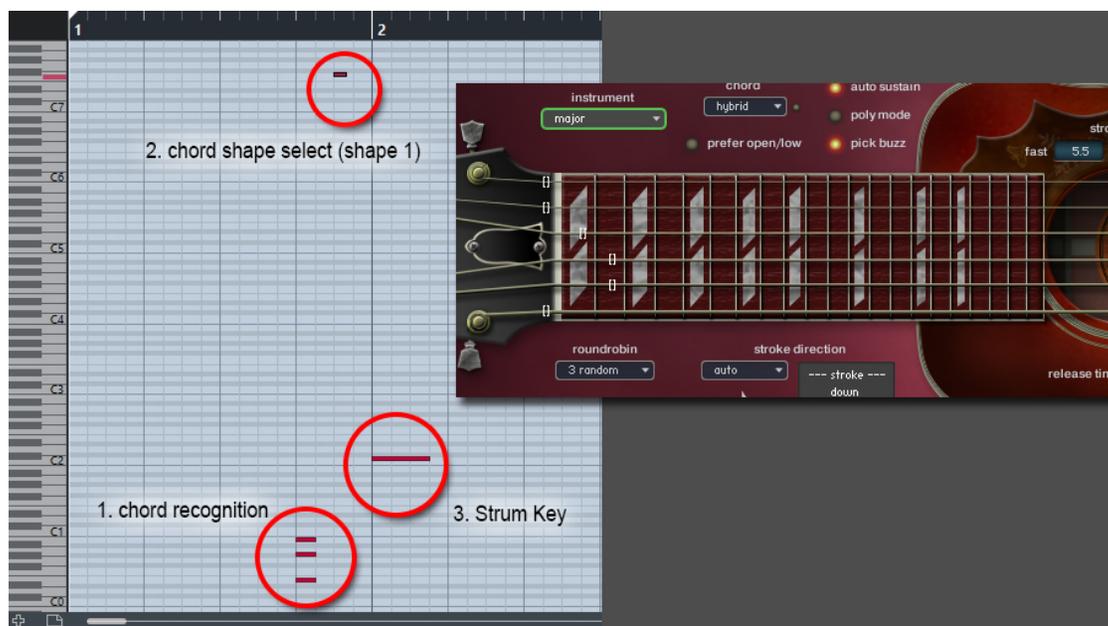
<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

## ストラムキー/アルペジオキー使用時のコードシェイプセレクト

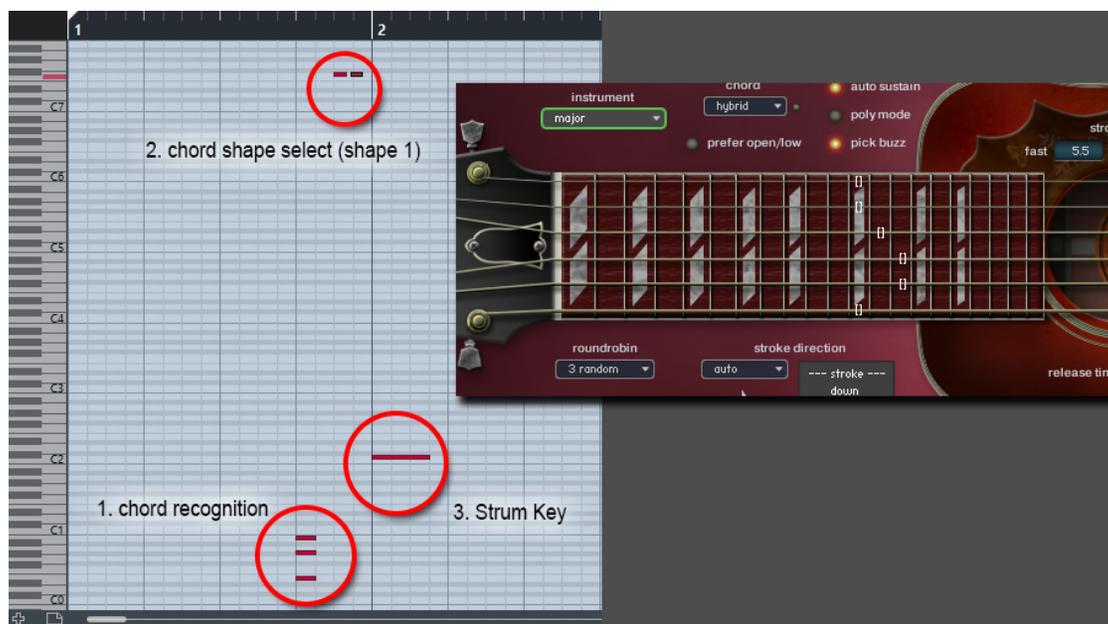
### コードシェイプ (コードフォーム) の選択方法

1. インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲 (C-2 - E1) でコード認識を行う
2. コードシェイプセレクト・キースイッチを1回または2回押す
3. ストラムキーまたはアルペジオキーを弾く

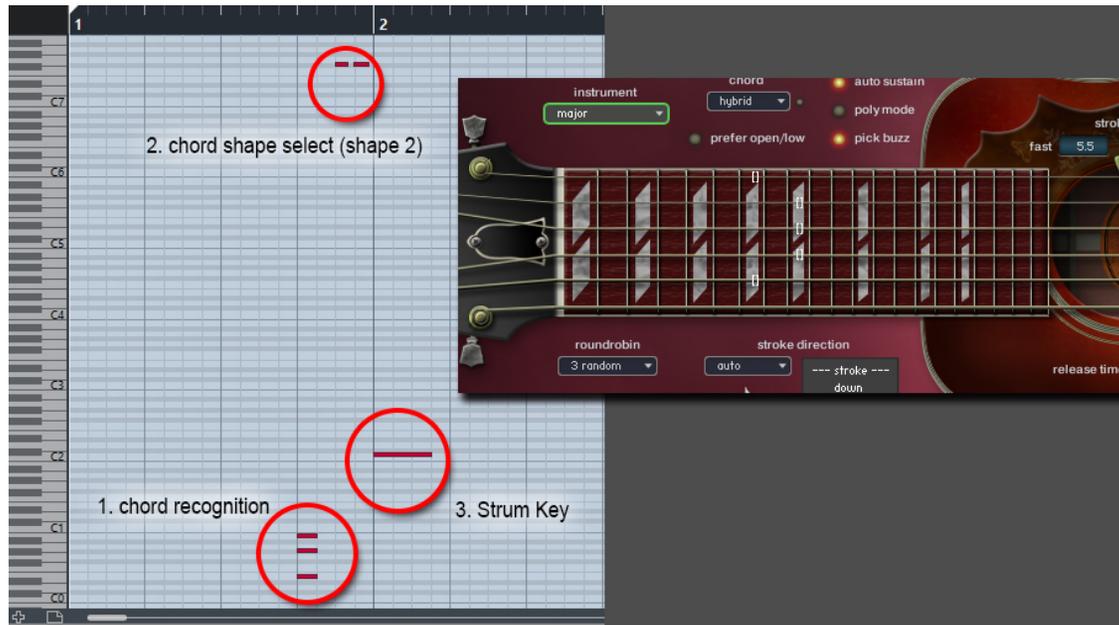
コードシェイプセレクト・キースイッチを一回だけ押すと、そのコードフォームの演奏可能な一番低いポジション (同ルート弦上の1番目のオクターブ内のポジション) が選択されます。



コードシェイプセレクト・キースイッチを2回連続で押すと、そのコードフォームの演奏可能な一番低いポジションの12フレット上 (同ルート弦上の2番目のオクターブ) のポジションが選択されます。



コードシェイプセレクト・キースイッチを2回連続で押しても2番目のオクターブが演奏可能なポジションの範囲外（フレットボードの範囲外）であれば、1番目のオクターブ内のポジションが選択されます。



\* コードシェイプセレクト・キースイッチ 3 回連続で押した場合、演奏可能な一番高いポジション（2 番目または 1 番目のオクターブ内のポジション）が選択されます。（Hummingbird は 20 フレットのギターなので同一弦において 3 番目のオクターブが無いからです）

---

## ver. 1.10 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

#### 「string skip key switch」機能

特定の弦のみ弾かない、特定の弦のみを鳴らしたままにするといった指定をキー・スイッチで行うことが可能になりました。

#### ピッチベンドレンジを各弦ごとに設定する機能

この機能により弦ごとに異なるベンド幅を設定し、複数弦を使用した様々なチョーキングを再現することが可能となりました。

#### Native Kontrol Standard (NKS) を公式サポート

KOMPLETE KONTROL Sシリーズキーボード、MASCHINE ハードウェアおよびソフトウェアから主要パラメータをコントロール、KOMPLETE KONTROL SシリーズキーボードのLight Guide（鍵盤一つ一つについたLED）でキー・スイッチや演奏可能レンジの確認が可能になりました。

### 【修正】

- 日本語マニュアル、Hummingbird\_user\_manual\_Japanese.pdfの18ページ、「コード・インストゥルメントの選択方法」に関する記述においてインストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲の誤りを訂正

誤) インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲（E3 - C7）でコードの構成音を押さえると

正) インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲（C-2 - E1）でコードの構成音を押さえると

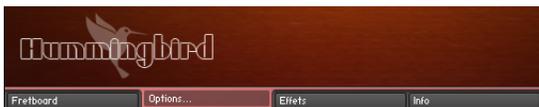
- その他バグ修正

## ストリング・スキップ・キー・スイッチ(string skip key switch)

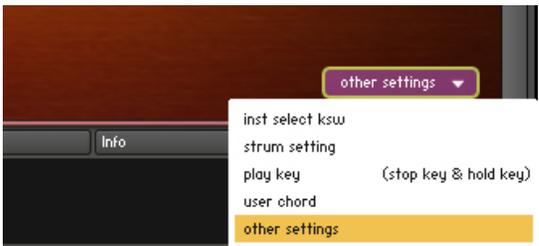
特定の弦のみ弾かない、特定の弦のみを鳴らしたままにするといった指定をキー・スイッチで行うことが可能になりました。指定したい弦のストリング・スキップ・キー・スイッチを押さえた状態で次の音を弾くと、その弦はストローク（ピッキング）の対象外となります。つまり、その弦は、キー・スイッチを押す前に鳴らした音がそのまま鳴り続けます。元々鳴っていなければピッキング対象から除外されているので鳴りません。これは Strum Settingの「do nothing」機能に似ていますが、より柔軟で自由度の高い使用方法が可能です。例えば、

- ・コードを鳴らした後に他の弦を鳴らしたまま特定の弦のみをレガートする
- ・アルペジオ演奏時に他の弦を鳴らしたまま特定の弦のみハンマリング、プリングを行う
- ・コードを鳴らした後に4、5、6弦のストリング・スキップ・キー・スイッチを押さえた状態でsingle noteのインストゥルメントに切り替え、4、5、6弦はコードの音を鳴らしたまま1、2、3弦を使用して何かフレーズを演奏する
- ・シンプルにStrum Keyの「do nothing」機能と同じように使用する

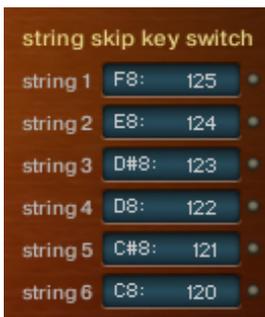
などといったことができます。



‘options...’ タブをクリック



インターフェイス右下部分にあるプルダウンメニューをクリックして ‘other settings’ を選択



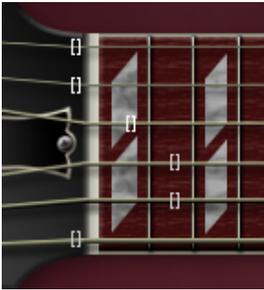
初期設定:

- String 1: F8 (MIDIノート番号: 125)
- String 2: E8 (MIDIノート番号: 124)
- String 3: D#8 (MIDIノート番号: 123)
- String 4: D8 (MIDIノート番号: 122)
- String 5: C#8 (MIDIノート番号: 121)
- String 6: C8 (MIDIノート番号: 120)

string skip key switch

string 1	F8:	125	●
string 2	E8:	124	●
string 3	D#8:	123	●
string 4	D8:	122	●
string 5	C#8:	121	●
string 6	C8:	120	●

キースイッチを押している間（この例では 6 弦用の C8、5 弦用の C#8、4 弦用の D8）、そのキースイッチの LED が点灯します。



キースイッチを押している間（この例では6弦用のC8、5弦用のC#8、4弦用のD8）、フレットボード・モニタでそのキースイッチが押されている弦のポジション表示マークの色がグレーになります。

## 各弦個別のピッチベンド幅の設定機能

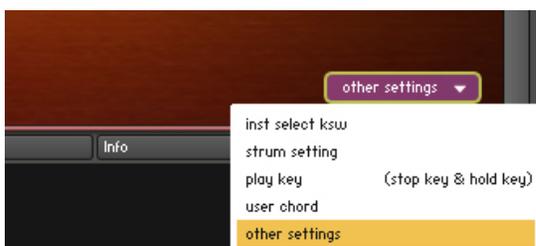
これにより、複数弦を使用した様々なチョーキングを再現することが可能となりました。これにより、例えば、

- ・上の弦は半音、下の弦は1音でチョーキングする
- ・poly modeやコード(emulated chord)での演奏時に特定の弦のみチョーキングする、ビブラートをかける

といったことが可能です。



‘options…’ タブをクリック



インターフェイス右下部分にあるプルダウンメニューをクリックして ‘other settings’ を選択



### Set all

このノブですべての弦のピッチベンド幅を一度に設定することができます。MIDI CC# 29で設定することも可能です。

### MIDI CCを使用して各弦を個別に設定する

各弦のピッチベンド幅の設定はMIDI CC# 28と30を使用して行うことも可能です。例えば2弦のベンド幅を変更したい場合、MIDI CC# 28 に2(=弦の番号)を送信、MIDI CC# 30 に設定したいベンド幅になるように適切な値を送信します。

<b>MIDI CC# 28</b>	<b>エディット対象となる弦番号</b> 1: string 1 2: string 2 3: string 3 4: string 4 5: string 5 6: string 6
<b>MIDI CC# 30</b>	<b>バンド幅</b> 0 (0 ベンドなし) - 127 (12 セミトーン)

*Set all* ノブおよび各弦のバンド幅のスライダーは、Macの場合はコマンドキーを押しながらクリック (Mac)、Windowsの場合はコントロールキーを押しながらクリックすると初期値の2セミトーンにリセットされます。

**Hummingbird update ver. 1.20**

Written by AKIHITO OKAWA

May 25, 2018

Copyright © 2004 – 2018 Prominy, Inc / AKI Sound

All rights reserved



<http://prominy.com>

Email: [info@prominy.com](mailto:info@prominy.com)